REPORT

平成21年度 ベンチャー育成連携事業 採択プラン決定！

去る6月、平成21年度ベンチャー育成連携事業採択事業プランが認定されました。

本事業は沖縄県におけるベンチャー企業や新規事業の創出を推進するために、本県において継続的にベンチャー企業や新規事業の発掘及び支援する仕組みを構築するとともに、インキュベーション施設を保有する市町村と連携を行うことを目的としています。

フロンティア認定（実現可能性が高いビジネスプラン）とアドバンス認定（実現可能性があるビジネスプラン）の2種類があり、今年度は7社の事業プラン（下の表）が認定されました。

公社では、今後、専属インキュベーションマネージャーによる支援や市場調査費の助成、県外展開支援、県内の市町村インキュベート施設への斡旋などの支援を行っていきます。

また、本事業は来年度も予定されており、公募開始は平成22年3月上旬を予定しております。事前相談はいつでも受け付けておりますので、お気軽にご連絡ください。

平成21年度　認定ビジネスプラン

【フロンティア認定】

No	ビジネスプラン名	申請者	ビジネスプラン概要
1	さとうきび粉末を利用した、商品作りの提案	綱田　誠	さとうきびの粉末を使用した商品開発化と事業化
2	アートエリアプロジェクト「クリエーターズ・ビレッジ」	秋友 かんな	芸術創造の街「アートエリア」を築くビジネスインキュベーション事業
3	帆かけサバニ推進プロジェクト	森　洋治	沖縄の海の文化「ブーカキサバニ（帆かけサバニ）の復活に向けた、体験サバニ、サバニスクール、サバニ製造、航海などのプロデュース事業

【アドバンス認定】

No	ビジネスプラン名	申請者	ビジネスプラン概要
4	３６０度パノラマ映像技術を用いたコンテンツサービス事業	藁科　邦利	特殊な撮影および編集による３６０度パノラマ映像と！Ｔを活用した事業の展開
5	沖縄から世界に向けて発信するシーサージュエリーのブランド化	宮城　光男	沖縄の伝統であるシーサーを進化させたジュエリーブランド「シーサー琳派」 ～自分だけの本物の宝物アッシュペンダントの提供
6	パイロット養成のための座学・シミュレーター訓練の提供	玉那覇　尚也	パイロット養成のための座学・シュミレーター訓練スクール事業
7	沖縄地域資源活用型ゲームビジネスの展開（ゲームキャピタルＯＫＩＮＡＷＡ）	(株)エンジンズ	「沖縄」の有る地域資源を活用した、新たなゲームの企画・開発事業

ベンチャー育成連携事業についてのお問い合わせは、産業振興課（☎098-859-6239）

平成21年度　沖縄県内中小企業マーケティング支援事業 支援企業一覧表

No.	企業名	商品名	商品内容	分類
1	有限会社　丸市ミート	ｼｭｰﾌﾞﾙﾐｰﾄ・ｽｰﾌﾟ（子山羊肉汁）	レトルトスープ	食品
2	有限会社　渡具知	A 島ハバネロマヨネーズ	マヨネーズ	食品
		B 島ハバネロカレー	レトルトカレー	
3	久米総合開発 株式会社	活〆急速冷凍車エビ	冷凍車エビ	食品
4	有限会社ガーデンパナ	A 無添加調味料　チャンプルの素	調味料	食品
		B 無添加調味料 タイフーン（ｴｽﾆｯｸの素）		
		C オニオンソルト・シリーズ		
		D 島唐辛子調味料　ドラゴンペッパー		
		E ガーデンパナ　ハーブティーシリーズ	お茶	
5	株式会社　佐喜眞義肢	CBブレース	膝関節症用装具	装具
6	株式会社 なかむら食品	A　うちなー豆腐	豆腐	食品
		B　ゆしどうふ		
7	南国食楽　ZU	沖縄宮古島（やわらか）キャラメル（ﾄﾞﾗｺﾞﾝﾌﾙｰﾂ味、マンゴー味）	生キャラメル	食品

お問い合わせ：海外・ビジネス支援課（☎098-859-6238）

平成21年度沖縄県中小企業マーケティング支援事業 7社が新規採択される

県内の中小企業が生産・製造している商品等の県外市場開拓を目的とした平成21年度沖縄県内中小企業マーケティング支援事業に左記の7社が新規採択されました。

この事業では、首都圏等への商品の販売ノウハウを有する専門家集団（日本セールスレップ協会・経営支援NPOクラブ等）を活用し、県外の販売見込先の紹介やマッチング等を行うとともに、販路開拓にかかる費用の助成①販路開拓委託費②同行活動旅費③販促用試供品④販促フェア出展費（①②④の助成率1／2、③1／4以内　上限額106万円）、公社に駐在する専任の販路コーディネーターによるハンズオン支援を行います。また、昨年採択された8社についても継続支援を行っています。

平成21年度OKINAWA型産業応援ファンド

8社の事業案に決定

～6月2日に採択交付式～

県と公社が実施するOKINAWA型産業応援ファンド事業は、沖縄の地域資源を活用した事業を促進することにより、優位性のある地域資源を活用した事業の芽だしを支援するとともに、沖縄の強みを活かした産業（健康・バイオ、観光分野等）を重点とした県内中小企業の事業化促進を支援することを目的としています。

先日、今年度の支援企業が決まり、採択交付式を6月2日に開催しました。

採択されたビジネスプランは、下の表のとおりです。

同事業は①新商品開発等支援事業（助成率3／4以内、上限額1千万円／件）及び②地域資源活用支援事業（助成率4／5以内、上限額500万円／件）からなり、その実施にあたっては、専門コーディネーターのソフト支援による経営課題の解決等により支援企業の早期創業や事業化を促進することになっています。

また、同事業の実施期間は、平成20年度から10年間となっておりますので、今後の募集時期等については、公社のホームページをご覧下さい。

経営なんでも相談

Q 不況の影響で売上が落ちています。販促費を減らすべきでしょうか？予算の少ない中小企業でも効果的な販促の方法があれば教えてください。

A 「売上が落ちたから、販促費を減らす」というのは、大きな間違いです！

なぜなら、販売を促進するためにやることだからです。売れない時にこそ、積極的に実施するべきなのです。あなたは販促の効果を正確に把握できていますか？もしわからなければ、今すぐやり方を変えましょう。効果があるのかないのかわからない販促に、お金をつぎ込んではいけません。

あなたが出している広告の目的は何でしょうか？もしかして、大企業のようなカッコいい「イメージ広告」をまねしていませんか？中小企業がイメージ広告をやってもお客様には全く伝わりません。わたしは以前、外国タバコの広告をやっていたのでよくわかりますが、ブランドを認知させ、浸透させるには莫大な費用と時間がかかるからです。

予算の少ない中小企業は、カッコいいコピーではなく、人を動かす伝え方をしなければ、売れないのです。あなたの商品・サービスの価値をわかりやすい「言葉」で伝えましょう。"モノ"ではなく、「体験」を売るという視点で考えるマーケティング手法（エクスペリエンス・マーケティング）があります。商品やサービスを、"モノ"として見るのではなく、それを買ったお客様が、どのような「体験」を得ることができるのか？という視点で、広告の文章を考えてみてはいかがでしょうか。

広告の反応率を上げるのに必要な3つのポイント。

①ターゲットを明確に

②何を伝えて（価値）

③どう行動して欲しいのか

この3つのポイントを踏まえて、売れるシナリオを描くことが効果的な販促の第一歩です。

「言葉選び」には、コストがかかりません。ローコスト住宅やローブライス商品のように、これからはローコスト広告で成果をあげる販促が必要不可欠になるでしょう。

末次康博（すえつぐやすひろ）
"ローコスト広告会社"
北谷メディア代表
☎098(995)9520
http://www.chatanmedia.jp
大学卒業後外資系広告会社、外国タバコ会社のマーケティング部を経て、2002年沖縄へ。地元の広告代理店に5年在籍後、08年地域密着マーケターとして独立起業。沖縄県産業振興公社登録専門家。

みんなでグッジョブ運動
沖縄県産業・雇用拡大県民運動
7月は「みんなでグッジョブ運動」推進月間

タブロイド判
「沖縄ベンチャースタジオ」20号
2009年7月10日発行
発行：(財)沖縄県産業振興公社
☎098-859-6237　http://ovs.jp
編集：(株)かいしゃ
広告：(株)アドスタッフ博報堂
☎098-862-4407　e-mail:uezu@adsta.co.jp
同紙についてのご意見・ご感想は
info@ovs.jpまで
「情報紙について」の件名を入れて送信して下さい。

【新商品開発等支援事業】

No	企業名	ビジネスプラン名	事業内容
1	有限会社ベルフォー	ブライダル車両開発による新たなリゾートウェディング事業の展開	何処でも挙式が出来るように、トイレ、美容室、着付室などを整備したシステム車両を開発し、沖縄各地の名勝、景勝地にて新たな沖縄リゾートウェディングを演出する。
2	株式会社アイランド	沖縄の資源を活用した市場が求める新しいクチャ化粧品の開発	沖縄産クチャを主体とし、ベースに島ニンジン等の県産素材を配合した「はがせるクチャパック」の開発。
3	株式会社ポイントピュール	久米島海洋深層水で栽培したオゴノリの化粧品開発プロジェクト	皮膚の形成に役立つミネラルを多く含むオゴノリを活用したシャンプーや基礎化粧品等の開発。
4	株式会社新菓人おきなわ	沖縄県産の素材を使ったお菓子の開発	和(もち)、洋(クリーム)、沖縄(県産フルーツ、ぬちまーす、黒糖等)の特徴を取り入れた三位一体の新しいお菓子の開発。

【地域資源活用支援事業】

No	企業名	ビジネスプラン名	事業内容
1	社団法人久米島町観光協会	食物アレルギー対応基盤を活用した新旅行商品造成プラン	日本初の食物アレルギー患者受け入が出来る観光地を目指し、基盤整備の確立及び旅行商品の開発。
2	沖縄子育て良品	子どもが口にしても安心な生活雑貨の開発プラン	沖縄県産木を利用し、安全塗料を施した「子どもが口にしても安心な」生活実用品(弁当箱、食器、玩具、家具小物など)の開発。
3	有限会社魚しげ	うちなーティラジャー(マガキガイ)の殻付きパック開発	沖縄全域で生息するマガキガイに高付加価値を付け、安定して供給できる県産貝を確立し新たな水産業を構築する。
4	伊江漁業協同組合観光部会	漁業を基盤とした「海人体験観光プログラム」の研究開発による、伊江島・島おこしプロジェクト	既存の観光プログラム(民泊)と連携し、伊江島でしか経験できない「海人体験プログラム」を構築することで、新たな観光客の獲得を目指す。

平成21年度OKINAWA型産業応援ファンド事業　採択企業一覧